

暮らしの

コーディネート

~第21回

今月のKEYWORD

『DEN(デン)』

den=「鳥の巣」「ほら穴」「小さな空間」を意味する英語。家の間取り図では、和室・洋室・居間など「居室」として扱う空間には、床面積、天井高、出入口や窓の大きさなどの条件があり、満たさない場合は「納戸」として扱われます。しかし、収納だけではもったいない、一つの空間として活用されるようになり、「納戸」から「DEN」と呼ばれるようになりました。



小さくても落ち着く、 自分だけの空間

コロナ禍により在宅ワークというスタイルがすっかり定着してきました。仕事に集中できる環境も必要ですが、たまには趣味に没頭したり静かに音楽を聴いたり、一人でくつろぎたいと思うことはあります。

ませんか？海外では「夫の部屋」「妻の部屋」などパーソナルスペースが設けられるケースが多いようですが、日本の間取りではなかなか独立した部屋として確保できない場合もあります。そこで注目されているのが、小さなプライベート空間「DEN」です。書斎のようなしつかりとした居室ではなく、アイデア次第で用途が広がる多目的空間が人気です。こぢんまりとした小さな空間には、守られているような落ち着きを感じる効果があると心理学的にもいわれています。

隙間空間やデッドスペースを活用する策としてDENを検討するご家庭も多いようですが、最近では間取りを考える際に意図的にDENを設けるご家庭も増えているようです。動く壁で間仕切りしたり、多目的収納を設けたりと、そういういったものをうまく取り入れた空間づくりもいかがでしょうか？

暮らしに合わせて フレキシブルに変化

ライフスタイルの変化に応じて対

一人の時間も楽しむ住まい